

## 民主主義は誰のもの？

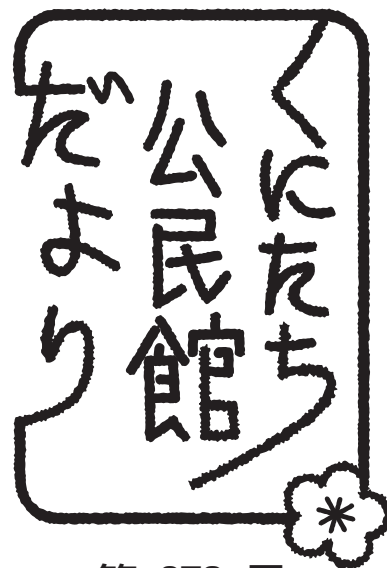
### 「ワカモノ」と考える民主主義と平和

元内閣官房副長官補

柳澤協二 × 諏訪原健 & 本間信和

SEALDs メンバー

10月18日に行われた「ピースリーディング in 国立」朗読発表会の第二部は、若者と元官僚という立場にある3名のトークセッションでした。今回は、大反響のあったトークの一部をまとめました。聞き手は「ピースリーディング」の脚本を書いた劇作家の石原燃さんです。



第 672 号

2016年2月5日

(平成28年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

❀ どのような活動を？

【諏訪原】「特定秘密保護法に反対する学生有志の会」(以下「SASPL」というものを、ちょうど2013年12月に法が成立した後、運用体制がまだ確立されていなかったもので、そこをよりきちんとしたものにするのが今できることだということで、2014年にデモンストレーションを初めて新宿でやりました。この問題はこれから先にもつながってくるということで、SEALDsというのは「自由と民主主義のための学生緊急行動」の略称なんですけれども、自由とか民主主義とかというものをトータルで考えながら、今の自分たちができることをしようとした。2015年5月3日に発足しました。メディアでよく伝えられているとおり、国会前でデモンストレーションを行ったり、サロンとい



う名前で勉強会を行ったり、法案の中身であったり、何が問題なのかというところについてお伝えするようなブックレットをつくったり、いろいろななかたちで、今起こっている問題に対して、自分たちでできることをやっていこうという団体です。

【石原】お二人は、どうしてSEALDsに加わったんですか。

【本間】自分の個人的な思いとして、3・11があって、高校1年生から2年生になるぐらいの境目の時期だったんですけども、その当時は、日本の社会はこれからどうなっちゃうんだろうみたいな、漠然とした危機感のようなものがあったて、原発のことであつたり、各大学の枠を超えて学生で話し合おうみたいなことをやっていて、当時はデモをやるといよりは、デモを見に行くみたいな立場でいろいろやっていました。



そういうことをして、同じメンバーで話し合いを続けていくと、これからは考え続けることが重要ですよとか、自分であることが大事ですよとか、やっぱり自分たちが考えた結果を、はっきり表明しなきゃいけないという話をしていて、ちょうどそのときに特定秘密保護法が可決されたんです。

官邸前に学生が何人か行つて、可決される現場を目撃して、その日の夜に、やっぱりデモをやろうと、何人かが集まって話していたのがきっかけでSASPLができていく。その延長線上にSEALDsもある。自分はそういう形で参加しました。

【諏訪原】今のままじゃだめだというの何となく分かってはいたんですけど、じゃあどうやって意思表示するのかというところは、僕は自身は「デモとかやっても意味あるのかな」と思っていました。でもやっぱりデモに参加するようになって、自分の思っていることをちゃんとと言わないといけないし、もう一歩先に行かないといけないというのを考えるようになって、今日に至っています。

### ❀ なぜ「声」を上げるのか

【石原】よく若者が頑張っていると言われると思うんですけども、そういうことに関しては何か一言あります。



り若者として怒っているとか、もちろん若者であるがゆえに、自分の未来はどうなっちゃうんだろうという切実な危機感みたいなものはありますけれども、この安保法制は、日本の立憲主義と民主主義をないがしろにするものとして、別に若者だけの問題じゃないと思うんです。国民全体の問題だと思われ、自分は若者を代表して頑張っているというよりも、国民の1人とか、市民の1人として反対している、声を上げているという意識のほうが強いです。

【柳澤】私は防衛庁に入ってから約40年間、防衛官僚としてやってきました。官僚の論理、官僚の価値観の中で仕事をしていくわけです。それでも私が官僚生活を送っていたときの大半は、自民党政権のもとであつても、憲法9条のもとで集団的自衛権は行使できないんだという解釈にチャレンジしようとする指導者はいなかったんです。だから私は、それはもう、ある意味当然の前提だと考えていた。

### ✿日本は世界に

#### どう思われたのか

これからの残された人生で何をやるかということを考えたときに、自分がやってきたことが本当に日本の平和、安全に役立っているのかということ、あるいは自分がやってきたことが、人を傷つけたことがあるんじゃないかということ、そういう観点でふり返ってみるとに気持ちがいっていったんです。その一番のきっかけはイラク戦争です。私は官邸で自衛隊のイラク派遣の現状を見ていて、これはやつぱりどこかおかしいなという思いを持ちつつも、そんなことを発言したら仕事にならないから、それは官僚をやめてから考えましようと思っていたんですね。

【柳澤】問われているのはやはり日本はどういう国であると世界に発信したいのかということですね。日本だけは武力を使わず、今、中東で1人も殺していないんです。そういう国であり続けるというメッセージを出すのか、そうではなくて、普通の国として、アメリカと同じことができるようになるんだというメッセージを出すのか。どちらが日本にとっていいことなんでしょうかということ。それが問われている。つまり普通の国に我

々がなるのか、我々のような存在を世界中の普通の国にしたいのか、ということが問われています。

日本国憲法前文の冒頭に、民主的なシステムで選ばれた代表者を通じて行動し、とありますね。安倍首相は自分がそうだと思ってい

るんです。だけど問題は、本当にそれでいいのかということ。国民がそれを信頼できるのかどうかということが問われている。容認派の人たちは、そんなものは個々の事例が分からなくなつて、最後は政府を信用すべきでしょうと言っている。だけど僕は信用できない。なぜかといえば、法的安定性を守らない政府だからです。つまり憲法を頂点とする秩序の中で、国防もあり、教育もあり、税金の取られ方もしかり、子育てもしかりなんですけれども、法的安定性とは国と社会の形のことを言っているんです。それを守るためにそれを壊していいなんて、そんなおかしい議論をするから我々は信用できないということなんですよ。だから国民として考えるべきなのは、とにかく間違ってもいいから強い政府が欲しいのか、ということなんです。あるいはそうではなくて、必ず間違えるんだから、間違いの幅ができるだけ少ない賢い政府。それほど強くなくていいから、間違



いをちゃんと改めてくれる政府を望みますかということ。さっきのは世界に向けてどういう国家像を発信するか。今度は自分たちが日本の中でどういう国家像を持つかということですね。

結局今、戦後70年経って、そういうことが改めて問われてきていると思います。個人的には、今の憲法のままで、より時代に合った新しいものにしていくことができると思っ

ているんだけれども、そういうことを我々は国民としてしっかり議論していかなければならない。



と思うんです。有権者の比率で言うと25%の得票率で80%の議席をとる制度のもと、巨大与党ができ、それが何でもありということになつたら、これは民主主義の存立危機ですからね、それをどうとめていくのかということを考えなきゃいけない。

だからSEALDsの人たちとか、それから元気のいいお年寄りが国会の周りで頑張っておられる。これは民意の発信なんです。民意の発信も大事。しかし民意を実際に国政に反映させることも大事なんです。その両輪が必要なのです。

### ✿自分のこととして考える

【石原】SEALDsについて、小熊英二さんが言っていたことで、今の学生は10年前に比べて確実に

苦しくなっていると。奨学金に苦しんでいる人がいるし、デモにしても、交通費もないような状況で駆けつける。そういう中で、切実な当事者の声として出てきている民主主義とは何だとか、勝手に決めるなどか、そういう鼓舞の言葉だったりするから胸に響くのだというのがあった。自分ではない誰か第三者が苦しいから助けなくてはいけないということではなく、私がつらい、自分自身の声として上げたことだったから、これだけの人が動いたのではないかと思っ

たいというのもそうだし、あの人のとってはどんなだろうというもの、あるかもしれないです。

【本間】この夏、僕が非常に思ったのが、やっぱり70年前の戦争を他者化しないということ。朝日新聞に投稿されていた、元予科練の方の手紙を、僕らも国会前で何度か読み上げたんですけども、デモ隊、SEALDsに参加している多くの人たちを見て、もともと予科練にいた方が、まるで自分たちのようだと。戦争で死んでいった自分の仲間のようなというふう

き、自分より社会的に弱者と言われている人たちをいじめていくというようなことがある。自分もSEALDsとして活動していて、誹謗中傷が飛んでくるんです。だけど、一歩間違えたら自分もそうなっていたかもしれない。そういうある種の想像力の余地みたいなものを自分の中に持っておくことが非常に大事だし、そういうこと

りの中で、1つの自分の経験と照らし合わせる中で、どんなほかの人の経験も取り込んで、自分の認識が豊かになっていくわけです。そういう関わりの中で、どう自分発信し続けるか。それが自己実現だと思うんですね。

むしろつながりを絶って、外からの情報を入れずに、自分の気に入らない事実を認めずに、好き勝手

は1人の人間を変えることはできない。ただ、じじ、ばばは、どういう思いで、どういうことで生きてきたんだということを共感してもらおうということです。それは案外、その人にとっても大事なことだし、何かそういう生き方も、今の若い人たちが、やっぱり友達との関係でも同じことなんだと思うんですけど。議論で打ち負かす、言い負かすことが勝利ではないんです。やっぱり共感を少なくとも得ているということが大事なんだと思っ

【諏訪原】やっぱり自分たち自身がつらいからというのはあると思うんです。これは僕自身が思っていることなんですが、この社会で本当にうまくいかないことが多くて、もうだめだと思っている人とか、あるいは、生きることを諦めてしまったような人たちに対して、もしかしたら自分自身がその人であつてもおかしくなかったんじゃないかみたいな感覚は、僕自身すごく強く抱いているんです。そういう意味で、柳澤さんのお話で、今の政治家は、自分は犠牲にならない人たちの論理で動いている、自分の身に置きかえて考えたとありましたが、そういうものの延長として、自分自身がどうし

「70年前のあの戦争」と言える僕らはラッキーかもしれないけれども、一方で、それってそんなに遠い話でもない。いつまたそういう状況になつてもおかしくないというところもそうだし、海外の戦争に対しても、自分たちは他者ではないということ。イラク戦争の派兵もそうですよね。あれが結果的に誰かを傷つけたかもしれない。そういう意味で、他人ごとではない。

【柳澤】私は何を大事にしたいかという、自己実現なんです。私は退職をして、初めて自分の頭で、自分をもう一回見つめ直す中で、今は結局こういう状況の中で、安倍首相が集団的自衛権をやりたい。これが安倍さんの自己実現であれば、これをとめて、最後まで抵抗していくのが俺の自己実現だと。同じ自己実現同士だから何も遠慮は要らないという思いでやっているわけですね。ヘイトスピーチと何が違うか。それは、ヘイトスピーチは自己満足なんです。外との関連で、それを内在化するという言葉を使っていましたけれども、やっぱり人間の経験できることは限られています。そこはイメージネーションを使って、1つのつなが

ピースリーディングの発表の中にもありましたね。「自分の子ども達にも伝えられる。自分の亭主も入れると4人だ。おやじを入れると5人」それだと思

とあります。

また、いわゆるネトウヨ(「ネット」と「右翼」を合わせた造語・ネット右翼)といつてくくられる人たち。あれも自分は他者ではないと思うんです。自分が社会的に理不尽な境遇になつていったと

き、自分より社会的に弱者と言われている人たちをいじめていくというようなことがある。自分もSEALDsとして活動していて、誹謗中傷が飛んでくるんです。だけど、一歩間違えたら自分もそうなっていたかもしれない。そういうある種の想像力の余地みたいなものを自分の中に持っておくことが非常に大事だし、そういうこと

りの中で、1つの自分の経験と照らし合わせる中で、どんなほかの人の経験も取り込んで、自分の認識が豊かになっていくわけです。そういう関わりの中で、どう自分発信し続けるか。それが自己実現だと思うんですね。

むしろつながりを絶って、外からの情報を入れずに、自分の気に入らない事実を認めずに、好き勝手

は1人の人間を変えることはできない。ただ、じじ、ばばは、どういう思いで、どういうことで生きてきたんだということを共感してもらおうということです。それは案外、その人にとっても大事なことだし、何かそういう生き方も、今の若い人たちが、やっぱり友達との関係でも同じことなんだと思うんですけど。議論で打ち負かす、言い負かすことが勝利ではないんです。やっぱり共感を少なくとも得ているということが大事なんだと思っ

とあります。



「ピースリーディング in 国立」の朗読ワークショップでは、約半年間にわたって一人ひとりが自分の頭で「憲法」のことを考え、言葉にすることを大切にしてきました。

## 60人の声

— 公民館60周年に寄せて③ —

公民館60周年にちなみ、公民館に縁のある60人の市民・関係者による、公民館へのメッセージ集の連載です(掲載順不同)。

### 私の学校Ⅱ公民館

佐藤節子(公民館運営審議会 委員長)

結婚して初めて住んだ街がこの国立。子どもが生まれてから公民館を覗くようになった。知的好奇心を満たす講座、保育室、どれをとっても魅力的。この街を選んで良かったとしみじみ思う。教育委員会のガイドブック作りの呼びかけで、公民館を居場所に集まった市内の生き物調査会は、現在NPO法人となって活動を継続している。

目の前の成果を追うのではなく、市民の力を引き出し、古いファンにも新住民にも「私の学校」と思えるような公民館を望んでいる。

### 公民館は好きなように使います

飯山文雄(文章表現の会)

公民館の活動では、自分が関わってきたものではない方が楽しい。参加している人もどんな経歴の方か知らない方がいい。自分の好きではない作品、題材に取組むこと、それを評価する人がいることを知

ること。変わった意見を言う人が、その道の大家だったりするかも。

公民館活動の基本は、他者を尊重することだと思う。それは、自分の意見が尊重されることでもあるから。国立市公民館は、国分寺市民を仲間にしてくれる。オペラや外国文学なら国分寺で歓迎です。

### まだまだ国立に住んでいて

北川みどり(男性の料理教室講師)

学生の頃に興味のある作家の講座に参加したことが公民館とのおつきあいの始まりでした。そこで学校以外の学びのおもしろさを体験したことがとても新鮮でした。他の講座などにも参加するようになり年齢や立場の違う方々との交流が楽しく又触発されることも多かったように思います。その後市民グループにも入り公民館をよく利用しています。たまたま仕事の関係で、長い間料理講座の講師をさせていただいているのも不思議なご縁だなと思っています。

### 「不断の努力」によって

田島すみ子(元公民館職員)

公民館と憲法は似ていると思う。どちらも戦後の民主化実現のために誕生したが、現在までの歩みの過程で、多くの困難と危機を体験した。しかしいまは市民の拠りどころ、手放したくないものとして貴重な存在となっている。まもり育ててきた先人あつてのことだ。学ぶことは人を大きくし主体的にする。市民は学び続けて公民館の多様な可能性を活かし成長させてきた。市民に尊敬の念が湧く。これからも「不断の努力」によって公民館は生き続けるに違いない。

### 刺激の源としての公民館

早田信二(心遊会)

「モーツァルトからビュティフルへ」の時代を駆け抜けてきたサラリーマンにとって退職後の生活に不安があった。それには自らに刺激を与え、頭と体を健全に保つ事が大事だと気づいた。その時、それまで殆ど縁遠かった公民館の活動に参加する機会を得た。それ以来四年余り、公民館で企画される行事の内容の多様さと活発なその運営に驚かされると共に、興味のある催し物への参加を通じて日常の生活に大いなる刺激をいただいている。

〈環境講座〉

## 究極のエネルギー『水素』の現実

～水素はほんとうにクリーンなのだろうか？～

講師 小澤 祥司(環境ジャーナリスト)

石油・石炭・天然ガスといった化石燃料に依存する日本のエネルギーは、ほぼ100%輸入に頼っている中、クリーンエネルギーとして「水素」が注目を集めています。

水素は、CO<sub>2</sub>排出量の削減とエネルギー自給率の向上を一挙に実現できるとして期待されていますが、本当に究極のエネルギーなのでしょうか。水素の製造、貯蔵、安全性について考えるとともに、4月から始まる電力の自由化についてもお話を伺います。

と き 2月20日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

## 生物心理学から見る世界

講師 渡辺 茂(慶應義塾大学)

動物とヒトの心や脳はどこが違うのか。

動物の社会行動と心理や知能を探ることで、ヒトの心の起源や認知の進化について、新しい角度からの発見が生まれるかもしれません。ラット、マウス、ハト、ブンチョウ、カラス、キンギョなどを使用し、ハトにピカソの画を見分けさせたり、世界で初めてカラスの「脳地図」を作成するなど、動物の中でも鳥類の心理学が専門の渡辺茂さんを招いてお話を伺います。普段の生活の中に何気なくいる動物たちについて、さらに広くはヒトについても考えてみませんか。

と き 3月10日(木) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名

申込先 2月9日(火) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

## フィンランド流の子育てと働き方

講師 坂根 シルック

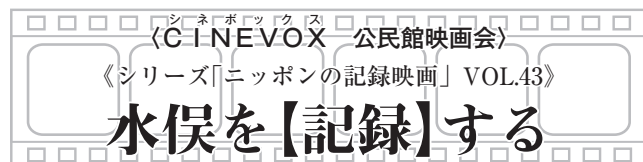
(東京農工大学、フィンランド語翻訳通訳家)

フルタイムで働く女性が多いフィンランド。それは、子ども手当や母親手当、父親手当などに代表される家族形成への手厚い支援があるためと言われています。一方日本では、支援が未整備でありながらも、女性のキャリア形成として、家庭を築きつつ社会における活躍が求められています。そこで今回は、フィンランドと日本の両方で仕事や子育てをされた経験を持つ坂根シルックさんにお話を伺い、子育てや働き方について考える機会にしたいと思います。

と き 2月13日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



チッソ水俣工場が水俣湾に流した有機水銀の廃液によって引き起こされた〈水俣病〉。その30年目の【現実】に迫る『水俣病—その30年—』、水俣病によって海を追われ、甘夏作りへの転換を余儀なくされた公害被害者たちの活動を追う『水俣の甘夏』——1980年代に作られた〈水俣病〉の【現実】を伝える秀作ドキュメンタリー2本を上映。

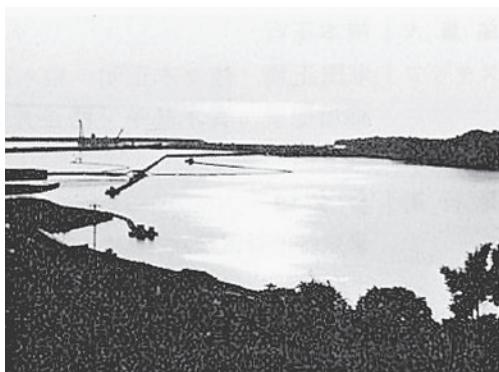
《上映作品》

『水俣病—その30年—』 1987年 カラー 43分

監督=土本典昭

『水俣の甘夏』 1984年 カラー 55分

監督=小池征人



と き 2月28日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 85名(当日先着順)

\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。



講師 水島 英己(東京純心女子学園講師、詩人)

日本三大随筆のひとつとされる『徒然草』。鎌倉時代後期に吉田兼好により書かれ、「つれづれなるままに……」で始まる小序は、誰もが一度は触れたことのある文ではないでしょうか。序段を含めて244段から成る内容は、人生論や人間観から自然観照まで幅広く綴ったものとなっています。

原文に親しみ、原文を味わいながら、一緒に講読しましょう。

〈使用するテキスト〉

お持ちのテキストでも構いません。新規に購入される場合は、『新版 徒然草』(現代語訳付き、小川剛生訳注、角川ソフィア文庫)をご用意ください。

と き 3月4日、11日、18日、25日(全4回)

いずれも金曜日、昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 25名

申込先 2月9日(火) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈シンポジウムとワークショップ〉

## 人とつながる スキルが活きる プロボノ活動

いま、「プロボノ」という生き方が注目を集めています。「プロボノ」は、社会人が自らの専門知識や技能を活かして参加する社会貢献活動のことです。国立市公民館では、たくさんの人が自らの経験や技能を活かした活動を行っています。なぜ、彼・彼女らは自らのスキルを活かした活動を続けるのでしょうか。そこには、「人」とつながりたい、自分の好きな事をして過ごす時間がほしいという人々の思いがありました。こうした活動を通じて人・地域・社会とつながることには、どのような魅力があるのでしょうか。「プロボノ活動」について、一緒に考えてみませんか。

お話し (3事例)

〈P.V.プロボノ 公民館の紹介ビデオを制作したNPO〉  
斉藤麻子、信田眞宏、高橋聡、安永梨和

〈KUNIBO くにたち地域外国人のための防災連絡会〉  
河津征二、Tran Trang

〈音楽キュレーター〉

マーサ(長谷川雅典)

と き 2月27日(土) 昼2時～4時半

ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(当日先着順)

\*ご自由においでください。

〈図書室のつどい〉

## 地図でたどる多摩の街道 —30市町村をつなぐ道—

講師 今尾 恵介 (日本地図センター客員研究員)

地形図の楽しみ方を誰よりも知っている今尾恵介さんをお招きします。

現役の古い道や、時代の移り変わりとともにいつしか消えてしまった道……。『道』には、そこを通り過ぎた人々の、さまざまなドラマが蓄積されています。

多摩の全市町村を新旧の地形図でたどりつつ、蓄積された『道』の歴史をひもといてみませんか。

〈今尾さんの本〉『地図の遊び方』『ふらり珍地名の旅』(筑摩書房)、『地図でたどる多摩の街道 30市町村をつなぐ道』(けやき出版) 他多数。

と き 2月27日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 30名(当日先着順)

\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈地域史講座・フィールドワーク〉

## くにたちの街道を歩く —まちを歩き、地域を知る—

講師 今尾 恵介 (日本地図センター客員研究員)

地形図の達人、今尾恵介さんと一緒に、くにたちを歩き直してみませんか。

五街道として整備された甲州街道は、新宿(内藤新宿)を発し、府中、谷保(くにたち)、日野を通して、下諏訪(山梨)に至ります。今回は、甲州街道を中心に、郷土文化館から谷保天満宮まで歩きます。普段歩きなれた「道」が違ったものに見えてくるかもしれません。

と き 3月12日(土) 朝9時30分～12時ごろ

※少雨決行。ただし荒天の際は、3月19日(土)に順延。

定員 20名

集合・解散 くにたち郷土文化館集合、谷保天満宮解散  
持ち物等 歩きやすい服装、飲み物、筆記用具

申込先 2月16日(火) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

協力 国立まなびあるきの会

〈平和講座〉

## 地図で読む東京大空襲 ～両国生まれの実体験をもとに～

講師 菊地 正浩 (ノンフィクションライター)

両国は回向院の裏あたりに住んでいた菊地さんは、昭和20年3月10日の東京大空襲を六歳のとき体験しました。一晩で10万人が焼け死んだという大空襲の惨事、70年を経た今は記憶も薄れつつありますが、数少なくなった生存者の一人として改めて書き残したと言っています。

地図研究家でもある菊地さんが、さまざまな地図・図版で東京大空襲と地方都市の空襲などを再現します。

〈菊地さんの本〉

『地図で読む東京大空襲』『和紙の里 探訪記』(草思社)、『「地図」が語る日本の歴史』(暁印書館) など

と き 3月5日(土) 昼3時～5時

ところ 公民館 3階集会室 定員 30名

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

〈近現代史講座③〉

## 朝鮮植民地支配と地域社会 —軍事基地建設・公害の視点から—

講師 加藤 圭木 (一橋大学)

近年の東アジア情勢は、政治レベルでの緊張が、国民感情にまで影響を及ぼす事態に陥っています。

近現代史講座3回目は、一橋大学の加藤圭木さん(社会学)をお招きし、朝鮮における軍事基地建設や公害についてのお話を伺います。加藤さんは、「戦争責任」の枠組みで捉えられがちな日韓の歴史問題に対し、19世紀からの日朝関係、植民地支配の実態を明らかにする必要があるという視点で、研究をされている若手の歴史学者です。

講座をとおして、東アジア地域をめぐる問題を、身近な問題として捉えるきっかけにしたいと思います。

と き 3月10日(木) 夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名

申込先 2月12日(金) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141

### 公民館運営審議会報告

1月12日(火) 第30期第15回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。傍聴1名。

前回の議事録確認

川田委員に委嘱状を伝達

協議事項

○諮問「国立市公民館の事業評価のあり方について」。複数の素案をもとに、①諮問の内容をどう受けとめるのか、②答申提出までにどのような作業が必要なのか、③今後の議論の進め方について、各委員が意見を述べた。これらを踏まえ、次回、さらなる協議を行うことになった。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会

12月号「冬休み直前ふれあいひろば」と「60人の声」が好評。

○社会教育委員の会

12月22日に第8回定例会を開催。各委員が、多様な背景について語り、それぞれの立場や独自の視点について理解を深めた。

○東京都公民館連絡協議会

12月16日に第9回会議を開催。狛江市が作成した多摩26市の公民館施設に関する調査結果は重要な基礎資料。第2回研修会を1月30日狛江市で実施。

○12月18日、人事要望書を教育長に提出。その際、教育長より館長人事について定例会にて公運審の意見を聴取したいとの要望あり。

次回、2月9日(火) 午後7時15分から。傍聴歓迎。(山田)

〈社会体育事業〉

「街を・山を歩く」第4回

と き 3月10日(木)〈雨天中止〉  
 集 合 谷保駅北口 朝9時  
 実施方面 多摩よこやまの道(距離:約12キロ)  
 対 象 市内在住、在勤者  
 チラシ 2月19日(金)から市役所3階生涯学習課、総合体育館、公民館、北・南市民プラザで配布します。  
 申込方法 チラシの内容を確認のうえ、(日程、コース、申込方法等) 2月22日(月)から3月4日(金)の期間に下記までお申し込みください。  
 申込・問合せ先 国立市教育委員会 生涯学習課  
 社会教育・体育担当 ☎ (576) 2107 (直通)



ひろば

(8ページにもあります)



「ハンゲル友の会」会員募集

韓国人教師と共に、ハンゲルの学習をしている会です。意外に難しい発音も、個別に丁寧に指導してもらっています。独学の方、勉強を再開したい方、見学歓迎です。  
 日時 隔週火曜日夕4時〜5時半  
 場所 公民館 小集会室  
 連絡先 工藤(577) 8179

カラオケサークル会員募集

キングレコード歌謡文化アカデミー講師林こずえ先生。演歌・ポップス・歌謡曲の大好きな方の入会お待ちしています。仲良く楽しく歌っています。

日時 第一、第三(木)昼2時〜4時  
 場所 公民館 音楽室  
 連絡先 林080(436) 8033

詩吟「隆楓会」へのお誘い

古今の和歌・漢詩をベテランの先生を中心に勉強しています。和気あいあいの中に吟が弾みまします。一度見学にお越しください。  
 日時 原則、第一、第三土曜日 昼2時〜4時、月3千円  
 場所 東地域防災センター  
 連絡先 福谷(572) 0765

くにたちメサイア合唱団員募集

くにたち市民合唱団では、メサイアと一緒に歌って下さる方を募集中です。初めての方も歓迎です。5月14日から練習開始する、土曜午後組も募集中です。

日時 3月2日夜6時半毎週水曜  
 場所 芸小ホール 音楽練習室  
 連絡先 川上080(6602) 7834

国立あひるグループです

年令を感じさせない歌声を響かせています。いつでもどうぞ練習風景を覗きにきて下さい。ア・カペラで歌っています。指揮ボイストレーナーは西出先生です。

日時 金曜日朝10時又は昼1時  
 場所 公民館 地下ホール  
 連絡先 重見(576) 4557

「よいいこ」を踊りましょう!

50〜60代で健康を維持されたい方。鳴子を持って「一美会」で楽しく踊りませんか。踊り未経験でも大丈夫。ご自分のペースで出来ます。イベントにも出演します。

日時 毎週火曜、木曜、土曜  
 場所 公民館他  
 連絡先 大空080(1202) 1103

笑美の会 初心者大歓迎

卓球教室会員の募集  
 楽しい卓球をやってみませんか。指導者は親切丁寧に教えてくれます。

日時 毎週金曜日 夜6時〜9時  
 場所 総合体育館 地下一階  
 連絡先 岡野(576) 0691

「さくら太極拳」会員募集

24・48式を中心に、年令問わず楽しく太極拳をしています。32式剣のレッスンも始まり、充実度アップ!初心者の方も大歓迎です。太極拳で心身共に健康に!

日時 毎週金曜日昼3時〜5時半  
 場所 総合体育館 第3体育室  
 連絡先 山田090(3439) 0339

ブリーディングヨガ会員募集

呼吸に合わせて、各目のペースで身体を動かしていきますので、初心者、経験者問わず、無理なく参加していただけます。心身の健康のために始めてみませんか?

日時 毎週土曜日 朝10時〜12時  
 場所 富士見台2丁目集会所  
 連絡先 坂井070(5305) 3018

第20回光遊会写真展示会

私達の写真サークルは郊外散策、景勝地やイベントで写真撮影を行っています。展示会を行います。ご覧いただければ幸いです。

日時 2月9日〜14日夕5時  
 場所 公民館 市民交流ロビー  
 連絡先 加藤(572) 4728

東日本大震災写真展

2011年3月11日に東北地方を襲った大津波。あまり報道されなくなった今、被災地の想いを伝えたく、岩手県釜石市周辺の方たちが撮った写真を展示します。

日時 2月16日朝9時〜21日  
 場所 公民館 市民交流ロビー  
 連絡先 古川090(9230) 1498

くにたち国際友好会 WING

2月の異文化コミュニケーションの会は、一橋大学留学生のグロニア・マフィさんに、アイルランドの歴史や文化、諸事情について紹介していただきます。

日時 2月18日(木)夜6時半  
 場所 一橋大学 国際交流会館  
 連絡先 和田090(3497) 2110

手作りみその会

今年もやります!手作り味噌。オーガニックな材料で皆で楽しく作ります。  
 申込み2月12日まで先着6名。材料費2千500円。

日時 2月20日(土)昼2時  
 場所 スペースF  
 連絡先 藤井(573) 4010

混声合唱公開練習・見学大歓迎

合唱の好きな方、国立ときわ会の公開練習においで下さい。和やかな中にも上質なハーモニーを目指す私たちの練習風景を見学し、一緒に歌い、楽しみましょう。

日時 2月21日(日)昼3時15分  
 場所 国立音大附 11スタジオ  
 連絡先 深町090(8392) 2444

リトミック さくらんぼリズム

体験レッスンのご案内です。ピアノの音に触れながら親子でリトミックを始めませんか。対象は平成26年4月2日〜平成27年4月1日生まれのお子様。体験費500円。

日時 2月23日(火)朝10時〜45分間  
 場所 芸術小ホール 音楽練習室  
 連絡先 鈴木080(4904) 2520

## 今月の公民館 (2月、3月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 13日(土) 昼 フィンランド流の  
子育てと働き方
- 20日(土) 昼 究極のエネルギー  
『水素』の現実
- 27日(土) 昼\*図書室のつどい  
「地図でたどる多摩の街道」
- 27日(土) 昼\*人とつながる スキルが  
生きる プロボノ活動
- 28日(日) 昼\*シネボックス CINEVOX公民館映画会  
『水俣を【記録】する』
- 3月4日(金) 昼~『徒然草』を読む
- 5日(土) 昼~ 地図で読む東京大空襲
- 10日(木) 昼 生物心理学から見る世界  
夜 朝鮮植民地支配と地域社会
- 12日(土) 朝 くにたちの街道を歩く

## ひろば

(7ページにもあります)



撮影 鈴木紀代子 (東)  
秋の鱗

### 憲法とわたしたち連続講座No.46

第九条「戦争の放棄」について改めて徹底学習します。講師は西川重則さん。(「わたしたちの憲法」著書・国立市在住) 九条を知っていると思っておられる方は是非。

日時 2月27日(土)朝10時~12時  
場所 公民館講座室資料代500円  
連絡先 実行委(574) 9210

### 第207回くいしんぼクラブ

エステルさんのスペイン料理

ほうれん草のサラダとスペイン風オムレツを習いましょう。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参下さい。

日時 2月27日(土)昼1時~  
場所 福祉会館 3階料理講習室  
連絡先 八宮(571) 10007

### 市民学習を育てる職員人事とは

公民館をまもる会連続学習会①  
職員の人事異動でせっかく築いた関係が中断、後退することがあります。これまでの人事異動を検証し、あり方を考えます。

日時 2月28日(日)昼1時半~  
場所 公民館 中集会室  
連絡先 杉原(577) 0124

### 春季ソフトテニス市民大会

参加資格は市内在住・在勤・在クラブ・参加費500円(高校生200円)  
・中学男女3月20日(日)(雨27日)  
・一般男女・シニア6月5日(日)(雨12日)・申込締切は中学生3月5日(土)一般男女・シニア5月21日(土)  
場所 広場テニスコート  
連絡先 加藤(572) 4728

### 介護者のためのほっとサロン

ご家族の介護している方、おしやべりと笑いのゲームでひと休みしませんか。「すてつき」はたすけあいの輪を広げるワーカーズコレクティブです。茶菓代200円  
日時 3月5日(土)昼2時~4時  
場所 福祉会館 3階講座室  
連絡先 すてつき(576) 3206

### 高橋源一郎氏講演会

「いま、人文学を学ぶ」4月国立に人文学の学校クニラボ開校! この記念イベントでは高橋氏の講演+実際の授業内容を体験していただけます。※予約1千500円  
日時 3月6日(日)昼2時開演  
場所 武蔵野公会堂ホール  
連絡先 大河内(526) 2662

### 〈サークル訪問230〉

#### 「絆の会」

「ほっとなひろば」この冊子、どこかでご覧になりましたか?



これを作ったのが市民グループ「絆の会」、最初の大仕事だった。12年2月公民館と市高齢者支援課との共同主催講座に参加した方々が、これからの高齢社会を支える地域の絆づくりをしようと立ち上げた会だ。皆で足を使って細かく情報を集め、取材を重ねて、冊子の大きさは? 地図は? 見易さは? 配布の仕方は? と話し合いながら作り上げた。

訪問した日は、これからのように会を進めて行くのかアンケート結果を検討しながら全員でそれを共有し各々が意見を述べ話し合っていた。

会のあり方としては、色々な提案をしながら行政、公民館と連携、協働して、活動を広げていく。市民が主体になって働きかけて、行政と協力してこれから一つずつ話し合って「絆の会」を育てていこ

うというところだ。

冊子には主な口箇所のひろば紹介と居場所の案内がまとめられている。居場所を探せる人はいいが、一人ではと躊躇し一歩が出ない方、本当に助けを必要としていても言えない方もいる。人と交わる楽しさを共有するために会として何ができるか、これからの課題である。「冊子は小さな一歩です。これをきっかけに一人でも多くの人が居場所を見つけれられることを願います」とは代表大井さんの言葉だ。そして、高齢社会を自分のこととして、また周りの誰かのためにと思う方、ご一緒しましょう!

第3土曜日午前中(予定)

公民館にて  
連絡先 大井(573) 5863

〈文・写真 井上恵子〉



若い人もどっぞ